

第2期歯科口腔保健基本計画(案) 新旧対照表

番号	頁	行・項目	修正後(最終案)	修正前(原案)	修正理由等
1	12	図	3歳児のむし歯のない者の割合の比較(市町村別)		時点修正
2	12	図	1歳6か月児/3歳児におけるむし歯有病者率とむし歯有病者のむし歯本数の推移		時点修正 色調修正
3	12	下から3行目	■ 2歳児対象の歯科健診は、2022年度では県内54市町村のうち49市町村で実施されています。また、全ての市町村でフッ化物歯面塗布事業が実施されています。	■ 2歳児対象の歯科健診は、2021年度では県内54市町村のうち49市町村で実施されています。また、全ての市町村でフッ化物歯面塗布事業が実施されています。	時点修正
4	13	表	<基本方針Ⅱ 歯科疾患の予防：乳幼児期における指標> 1 3歳児でむし歯のない者の割合の増加 94.4% (2022) 3 1歳6か月児で仕上げみがきをする親の割合の増加 68.1% (2022) 5 1歳6か月児健康診査以前に歯科保健事業を実施している市町村の割合の増加 77.8% 42市町村 (2022)	1 3歳児でむし歯のない者の割合の増加 93.1% (2021) 3 1歳6か月児で仕上げみがきをする親の割合の増加 69.1% (2021) 5 1歳6か月児健康診査以前に歯科保健事業を実施している市町村の割合の増加 74.1% 40市町村 (2021)	時点修正
5	13	下から4行目	◆ 幼稚園、保育所等におけるフッ化物洗口を引き続き推進し、こどもの歯と口の健康格差の縮小に向けた地域の支援体制を整備していきます。	◆ 保健所は市町村と協力して、フッ化物洗口を実施している施設が安全かつ効果的に継続実施するための支援を行います。	健康日本21 あいち計画と 記載整合
6	14	下から3行目	■ 12歳児のむし歯の状況は、2011年度では一人平均むし歯本数が0.81本であったのに対し、2022年度では0.32本(愛知県地域歯科保健業務状況報告)と改善しており、全国トップレベルの良好な状況です。	■ 12歳児のむし歯の状況は、2011年度では一人平均むし歯本数が0.81本であったのに対し、2021年度では0.39本(愛知県地域歯科保健業務状況報告)と改善しており、全国トップレベルの良好な状況です。	時点修正
7	14	図	12歳児の永久歯の一人平均むし歯等の本数(都道府県別)		時点修正 色調修正
8	15	1行目	■ フッ化物洗口は、永久歯に生え変わる年長児から中学生の頃に、幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校で実施することにより、効果的なむし歯予防が期待できます。フッ化物洗口実施施設の割合は、2019年度に37.9%と順調に増加し、永久歯のむし歯予防に成果を上げてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による中断で2020年度に減少しています。また、フッ化物洗口実施率と12歳児のむし歯を有する者の割合に地域差が見られます。この時期のむし歯予防が生涯にわたって口腔を健康に保つことにつながることを、教育関係者等と連携しながら、フッ化物洗口の推進を図る必要があります。	■ フッ化物洗口を実施する小学校等は、2019年度に37.9%と順調に増加し、永久歯のむし歯予防に成果を上げてきました。新型コロナウイルス感染症の影響による中断で2020年度に減少しているため、再開に向けた関係者の連携と情報共有が必要です。また、給食後の歯みがきも同様の傾向です。フッ化物洗口実施率と12歳児のむし歯を有する者の割合では地域差があります。	パブリック・コメント

9	15	図	フッ化物洗口実施施設割合の推移		数値修正
10	15	図	12歳児のむし歯を有する者の割合とフッ化物洗口実施率		表記修正
11	15	図	12～17歳の歯・口腔（歯肉の状態）に所見のある者の割合		時点修正
12	16	表	<p><基本方針Ⅱ 歯科疾患の予防 学齢期における指標> 7 12歳児でむし歯のない者の割合の増加 84.4% (2022) 8・9 中学生・高校生で歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少 (14歳、17歳) 14歳 2.5% 17歳 3.8% (2022) 目標値 14歳 3%※ 17歳 3% 11 学校歯科医が健康教育を支援している施設の割合の増加 (小学校) 33.9% (2022) 12 フッ化物洗口を実施する施設の割合の増加 (幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校) 29.3% (2022) 13・14 給食後の歯みがきを実施している施設の割合の増加 (小学校、中学校) 小学校 37.5% 中学校 12.9% (2022)</p> <p>[表下] ※「中学生・高校生で歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少 (14歳)」は、3%以下を維持することを目標とする。</p>	7 12歳児でむし歯のない者の割合の増加 81.9% (2021) 8・9 中学生・高校生で歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少 (14歳、17歳) 14歳 5.8% 17歳 8.5% (2021) 目標値 14歳 3% 17歳 3% 11 学校歯科医が健康教育を支援している施設の割合の増加 (小学校) 30.4% (2021) 12 フッ化物洗口を実施する施設の割合の増加 (幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校) 27.1% (2021) 13・14 給食後の歯みがきを実施している施設の割合の増加 (小学校、中学校) 小学校 40.9% 中学校 13.6% (2021)	時点修正 ベースライン 値更新に伴う 注釈削除追記
13	16	下から8行目	◆ 児童・生徒が自発的に歯科健診を受ける行動を促すための啓発を行います。 ◆ 市町村、市町村教育委員会、地区歯科医師会、学校歯科医と連携し、小・中学校における給食後の歯みがきの実施、食育を含めた歯科口腔保健に関する健康教育などの保健活動を推進します。 ◆ 小・中学校におけるフッ化物洗口を引き続き推進し、こどもの歯と口の健康格差の縮小に向けた地域の支援体制を整備していきます。	◆ 保健所は、市町村、市町村教育委員会、地区歯科医師会、学校歯科医と連携して、小・中学校におけるフッ化物洗口や給食後の歯みがきの実施、食育を含めた歯科口腔保健に関する健康教育などの保健活動を推進します。 ◆ 保健所は市町村等と協力して、フッ化物洗口を実施している施設が安全かつ効果的に継続実施するための支援を行います。 ◆ 児童・生徒が自発的に歯科健診を受ける行動を促すための啓発を行います。	記載順等の修正 健康日本21 あいち計画と 記載整合
14	18	図	40歳における歯周炎と喪失歯のある者の割合の推移		時点修正
15	18	3行目	歯周病と糖尿病重症化予防の取組を、 <u>国保ヘルスアップ事業の一つとして医歯薬連携により</u> 進めています。	歯周病と糖尿病重症化予防の取組を医歯薬連携で進めています。	関係課の意見
16	18	5行目	■ 全ての市町村で健康増進法に基づく歯周疾患検診が実施されており、受診率は9.9%です (2022年度愛知県歯周疾患検診実施状況報告)。	■ 全ての市町村で健康増進法に基づく歯周疾患検診が実施されており、受診率は10.2%です (2021年度愛知県歯周疾患検診実施状況報告)。	時点修正

17	18	図	年1回以上の歯科健診を受けている者の割合の推移		色調修正
18	19	表	<p><基本方針Ⅱ 歯科疾患の予防 成人期における指標></p> <p>16 40歳で歯周炎を有する者の割合の減少 <u>50.3% (2022)</u></p> <p>17 40歳で喪失歯のない者の割合の増加 <u>91.8% (2022)</u></p> <p>22 歯周疾患検診における精密検査受診率の増加 (40歳・50歳) <u>33.4% (2021)</u></p>	<p>16 40歳で歯周炎を有する者の割合の減少 <u>49.2% (2021)</u></p> <p>17 40歳で喪失歯のない者の割合の増加 <u>93.6% (2021)</u></p> <p>22 歯周疾患検診における精密検査受診率の増加 (40歳・50歳) <u>30.3% (2020)</u></p>	時点修正
19	21	図	60歳における歯周炎のある者の割合の推移		時点修正
20	21	下から6行目	<p>■ 高齢者の医療の確保に関する法律に定められた、75歳以上を対象とする後期高齢者歯科健康診査を実施する市町村は、<u>32市町村 (2022年度地域歯科保健業務状況報告)</u>です。</p>	<p>■ 高齢者の医療の確保に関する法律に定められた、75歳以上を対象とする後期高齢者歯科健康診査を実施する市町村は、<u>28市町村 (2021年度地域歯科保健業務状況報告)</u>です。</p>	時点修正
21	22	表	<p><基本方針Ⅱ 歯科疾患の予防 高齢期における指標></p> <p>25 60歳で歯周炎を有する者の割合の減少 <u>60.7% (2022)</u></p> <p>29 歯周疾患検診における精密検査受診率の増加 (60歳・70歳) <u>33.4% (2021)</u></p>	<p>25 60歳で歯周炎を有する者の割合の減少 <u>61.7% (2021)</u></p> <p>29 歯周疾患検診における精密検査受診率の増加 (60歳・70歳) <u>30.9% (2020)</u></p>	時点修正
22	23	下から9行目	口のために飲み込めない・かまわずに丸飲みする者の割合は、1歳6か月児で <u>46.0%</u> 、3歳児で <u>22.7%</u> でした (<u>2022年度愛知県乳幼児健康診査情報</u>)。	口のために飲み込めない・かまわずに丸飲みする者の割合は、1歳6か月児で <u>46.7%</u> 、3歳児で <u>23.9%</u> でした (<u>2021年度愛知県乳幼児健康診査情報</u>)。	時点修正
23	24	表	<p><基本方針Ⅲ 口腔機能の獲得・維持・向上：乳幼児期・学齢期における指標></p> <p>31 3歳児で口のために飲み込めない・かまわずに丸飲みする者の割合の減少 <u>22.7% (2022)</u></p> <p>(5) 1歳6か月児健康診査以前に歯科保健事業を実施している市町村の割合の増加【再掲】 <u>77.8% 42市町村 (2022)</u></p> <p>(11) 学校歯科医が健康教育を支援している施設の割合の増加 (小学校) 【再掲】 <u>33.9% (2022)</u></p>	<p>31 3歳児で口のために飲み込めない・かまわずに丸飲みする者の割合の減少 <u>23.9% (2021)</u></p> <p>(5) 1歳6か月児健康診査以前に歯科保健事業を実施している市町村の割合の増加【再掲】 <u>74.1% 40市町村 (2021)</u></p> <p>(11) 学校歯科医が健康教育を支援している施設の割合の増加 (小学校) 【再掲】 <u>30.4% (2021)</u></p>	時点修正
24	26	7行目	<p>■ <u>2022年度</u>の後期高齢者に対する健康診査 (フレイル健診) で「半年前に比べて固いものが食べにくくなっていない」と回答した者の割合は<u>70.1%</u>です。</p>	<p>■ <u>2020年度</u>の後期高齢者に対する健康診査 (フレイル健診) で「半年前に比べて固いものが食べにくくなっていない」と回答した者の割合は<u>69.6%</u>です。</p>	時点修正
25	26	下から8行目	<u>2022年度</u> では <u>11市町村</u> での実施に止まり (愛知県地域歯科保健業務状況報告)、引き続き口腔機能の評価の導入を推進していく必要があります。	<u>2021年度</u> では <u>7市町村</u> での実施に止まり (愛知県地域歯科保健業務状況報告)、引き続き口腔機能の評価の導入を推進していく必要があります。	時点修正
26	27	表	<p><基本方針Ⅲ 口腔機能の獲得・維持・向上：成人期・高齢期における指標></p> <p>32 75歳以上で咀嚼良好者の割合の増加 <u>70.1% (2022)</u></p>	<p>32 75歳以上で咀嚼良好者の割合の増加 <u>69.6% (2020)</u></p>	時点修正

27	28	下から11行目	在宅歯科医療のニーズの把握、歯科訪問診療を担う歯科医師等の確保	歯科訪問診療のニーズの把握、歯科訪問診療を担う歯科医師等の確保	表記統一
28	29	2行目	また、障がい者（児）がかかりつけ歯科医を早期から持ち、定期的な歯科健診による疾患予防や、毎日の歯みがきや適切な口腔機能の獲得・維持の重要性について県民及び関係者に広く啓発する必要があります。	また、障がい者（児）がかかりつけ歯科医を早期から持ち、定期的な歯科健診による疾患予防の重要性について県民及び関係者に広く啓発する必要があります。	部会委員の意見
29	29	6行目	また、障がい者（児）の入所・通所施設利用者の口腔健康管理を推奨するため、障害の特性に応じた口腔ケアの方法や口腔機能の獲得・維持について、施設職員に対する研修などを実施しています。	また、障がい者（児）の入所・通所施設利用者の口腔健康管理を推奨するため、施設職員に対する研修などを実施しています。	部会委員の意見
30	29	9行目	在宅歯科医療のニーズ把握や課題の共有、歯科訪問診療の導入支援	在宅歯科医療のニーズ把握や課題の共有、在宅歯科診療の導入支援	表記統一
31	29	16行目	在宅療養支援歯科診療所は、本県では、2024年1月現在で617施設（16.6%）あります（東海北陸厚生局届出受理医療機関名簿）。	在宅療養支援歯科診療所は、本県では、2023年4月現在で599施設（16.1%）あります（東海北陸厚生局届出受理医療機関名簿）。	時点修正
32	29 30	表	<p><基本方針Ⅳ 定期的に歯科健診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健の推進：障がい者（児）・要介護高齢者・在宅療養者における指標></p> <p>37 介護老人福祉施設、介護老人保健施設及び介護医療院で入所者の口腔衛生管理を行っている施設の割合の増加 29.1%（2023）</p> <p>〔表下〕（削除）</p>	<p>37 介護老人福祉施設、介護老人保健施設及び介護医療院で入所者の口腔衛生管理を行っている施設の割合の増加 26.9%※2（2022）</p> <p>※2 ベースライン値は介護医療院を除いた割合</p>	<p>時点修正</p> <p>ベースライン値更新に伴う注釈削除</p>
33	58	関連計画	医：愛知県地域保健医療計画と共通する指標 健：第3期健康日本あいち計画と共通する指標	医：愛知県地域保健医療計画（次期）と共通する指標 健：健康日本あいち計画（次期）と共通する指標	計画名修正
34	58 62		ベースライン値修正		時点修正
35	概要版	表	ベースライン値修正		時点修正